

令和5年度 盛岡工業高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～健康保持の実現と、誇りとやりがいを持った職場を目指して～

盛岡工業高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

- (1) 月当たりの時間外勤務80時間以上の職員の割合が、R4(27.8%)、R3(17.5%)、R2(34.0%)である。
- (2) 時間外勤務の多くが部活動指導である。
- (3) 職員健康区分について、C1区分の割合が、R4(42.4%)、R3(52.3%)、R2(56.7%)である。
- (4) 年次休暇、夏季休暇の取得状況(R4)は、年次休暇7日未満(8.5%)、夏季休暇3日未満(5.3%)である。

2 目指す姿

- (1) 教職員一人ひとりが、限られた時間の中で最大限の効果を上げ、達成感を感じながら業務に取り組む。
- (2) 管理職が日頃から、教職員に対し教職員の仕事の実態を把握し、役割分担の在り方や業務の進め方など様々な観点からの見直しや平準化を進め、よりよい働き方への意識改革を進める。
- (3) 教職員が、健康で生き生きと業務を行い、授業やその準備に集中できており、誇りとやりがいを持って生徒たちに向き合う時間を確保する。

3 取組内容

○ 学校における業務改善の推進

- ・各職員が、マネジメント能力を発揮し、各学科、各学年、各分掌及び全体が「チーム盛工」としての業務遂行がより一層できるよう積極的に全体で推進します。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・部活動の負担軽減に向け、週1日以上 の休養日を徹底しながら、外部人材の登用について推進します。

○ 教職員の健康管理

- ・管理職が、毎年実施される健康診断結果を把握及び分析し、医療機関等への受診が必要な教職員に対して、積極的に声がけをします。
- ・年次休暇や特別休暇（夏季休暇）の積極的な取得を促します。

4 目 標

- (1) 平均の勤務は、1日当たりの在校時間を10時間以内とする。
- (2) 週休日である土曜日、日曜日については、連続して業務に従事することがないように、複数顧問の中で調整しながら必ず休養できるようにする。
- (3) 職員が健康で業務に取り組める環境を整える。
- (4) 教職員一人当たりの年間取得日数を年次休暇7日以上、夏季休暇3日以上とする。

令和5年5月9日 岩手県立盛岡工業高等学校長 瀬戸 和彦

(参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの期間】 令和3年度～令和5年度までの3か年度

【プランの目標】

目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者を令和3年度からゼロにする。

- (2) 時間外在校等時間（週休日の部活動指導従事時間を除く。）が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり段階的に縮減する。

時間外 在校等時間	取組期間		
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度
月45時間超	令和2年度実績の 5割減	令和2年度実績の 8割減	ゼロ
年360時間超			

目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上

令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。